

科目ナンバリングコード	TmcZ111101	授業科目名	メディア表現史		
担当教員名	伊藤　ガビン、高橋　裕行				
履修可能開始学年	1年	単位数	2.0単位	授業区分	週間授業
開講年度	2026年度	開講学期	2026年度3Q、2026年度4Q	開講曜日・講時	金曜8限
主要授業科目	○	クォーター開講科目		セメスター開講科目	

科目分類	基盤科目	抽選科目		教室	
授業形態種別	講義	授業実施形態			
相関するDP(カリキュラム年度2017-2020)					
相関するDP(カリキュラム年度2021-)	DP-1 知識と理解	DP-2 創造的思考と考察	DP-3 技術と表現	DP-4 他者理解と協働	DP-5 社会への関心と行動
相関の有無		●		●	

科目ナンバリングの説明ページへのリンク	https://www.kyoto-seika.ac.jp/campuslife/class/numbering.html	ディプロマポリシー（DP）の説明ページへのリンク	https://www.kyoto-seika.ac.jp/campuslife/class/matrix.html
---------------------	---	--------------------------	---

サブタイトル
授業の目的・到達目標
・表現とメディアの関係を歴史的側面から理解する ・メディアを成り立たせている記録や複製といった技術の基本的な知識を身につける ・メディアの歴史的背景を知ることを通じて、表現活動のさらなる可能性を意識できる
授業の概要
実務経験／実践的教育
○○としての実務経験を有する教員がその経験を活かし担当する授業科目です。【実務経験／実践的教育】
授業計画
授業外学習の指示（予習・復習・課題等）

単位制度の趣旨に則り、次に示す授業外学習(自学自習)時間が必要です。 【1単位につき週あたりに必要な自学自習時間】 クォーター科目：講義・演習 4. 時間、外国語・実習 2.5時間／セメスター科目：講義・演習 2.25時間、外国語・実習 週1.25時間 ※2単位科目の場合は上記を二倍、3単位科目は三倍してください。また、演習科目はカリキュラム年度によって授業時間と自学自習時間の配分が異なりますので、シラバスや科目担当者の授業内での指示に従ってください。この科目では授業外学習として、以下の内容に取り組んでください。

評価方法・評価基準
履修条件・留意点及び受講生に対する要望
購入必須テキスト
参考文献・作品等
参考WEBサイト（サイト名・URL）